



三春中学校だより

第 12 号

発行日 令和 元 年 6 月 2 1 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【朝食を見直そう週間運動実施！ ～よりよく食べることはよりよく生きること～】

6月3日（月）～7日（金）の1週間、『朝食を見直そう週間運動』を実施しました。“食に関する正しい理解と関心を高め、生活リズムを改善し、食事摂取を基本とした望ましい食習慣の形成を図る”というねらいのもと、県作成『自分手帳』を活用したり給食委員会によりポスターを作成したりなどしました。

本校が本格的に『食育』に取り組んでから5年。今年度の1年生の朝食摂取率は“過去最高”だそうです。残念ながら、“まったく食べない”“週の半分以上食べない”と回答した生徒も少数ながら存在しました。

1日の中での『朝食』の大切さについては小学校からずっと学んできていることでもあります。朝食は、食べると、『脳のスイッチ』『体にスイッチ』『おなかにスイッチ』だそうです。朝の脳は栄養失調状態でもあるそうです。

感謝の心をもって、可能な限り家族と共に、バランスのよい食事を、よく噛んでいただくこと。本校の『食育』は小学校の『食育』を引き継ぎ、中学1年生から学んでいます。



【生き方学習！ ～広い視野、多様な視点をもって自らの進路について考えよう。～】

6月10日（月）の5・6校時に、第3学年において、生き方学習『持続可能な社会の実現をめざして』というタイトルで総合的な学習の時間の活動に取り組みました。

当日は、二本松にある二本松青年海外協力隊訓練所（JICA二本松）から2名の講師の先生をお招きし、国連で話し合われた『持続可能な社会の達成目標』（SDGs）17の目標にたどり着くためのさまざまなワークショップが、楽しく和気藹々の雰囲気の中で実施されました。

『17の目標』とは、①貧困をなくすこと ②飢餓をなくすこと ③健康であること ④質の高い教育 ⑤ジェンダーの平等 ⑥清潔な水と衛生 ⑦再生可能エネルギー ⑧適切なよい仕事と経済成長 ⑨新しい技術とインフラ ⑩不平等を減らすこと ⑪持続可能なまちと地域社会 ⑫責任をもって生産し消費すること ⑬気候変動への対策 ⑭海の命を守ること ⑮陸の命を守ること ⑯平和で公正な社会 ⑰目標のために協力することの17の目標だそうです。

世界みんなが自らの責任と役割を自覚し、平和な世界が実現・持続できるよう、それぞれの場所で“一所懸命”17の目標の実現をめざしましょう。



【世界と共に地域も深く見つめて！ ～会津・仙台への学習旅行の学びを発表しました。～】

1年生の会津学習旅行、2年生の仙台学習旅行、現地でしか学べない学習をした後、それぞれの学年において、現地での学びの跡を報告し合う機会を事後学習として設定しました。模造紙等に学んできたことを整理しまとめ級友同士が聞き合い学び合うという学習活動でした。

小学校においても、三春の地域を知ろうという学習はしています。その三春学習を経て、三春から会津、仙台とその視野を広げ、3年生の修学旅行ではさらに日本の国という視野で学習を広め深めていこうとします。現地での学びを生かしつつ、自らがこれからどう生きていったらいいのかについて考える、中学生らしい学びの機会としてもらいたいと思います。



【入試制度が新しくなるからこそ“今”から！

～目標を明確に、その実現にむけ努力を積み重ね、力をつけておけば心配なし。～】

2020年度入試（今の3年生）からこれまでのⅠ期・Ⅱ期が統合され、**前期選抜**（特色選抜・一般選抜）と**連携型選抜**、そして、今のⅢ期にあたる**後期選抜**になります。前期選抜は3月上旬に実施され3月16日に合格発表、後期選抜は3月24日に定員を満たしていない高校で実施されます。

前期選抜のうち、**特色選抜**は、各高校の特色に応じて実施する入試で、受験生の個性や学ぶ意欲を重視し、特色に応じた選抜となるよう選抜資料（調査書・志願理由書・学力検査・面接・小論文・実技等（校長判断により実施））をもとに能力と特性で総合的に判定されます。1つの高校の1学科に出願可能で、募集定員の5～50%の定員枠があります。**一般選抜**は、中学校における学習活動の成果を総合的にみる入試で、学力検査の成績、調査書等の選抜資料（調査書・学力検査・面接（校長判断により実施））をもとに能力と適性で総合的に判定されます。募集定員から特色選抜の合格者を除いた人数が定員枠となります。**連携型選抜**は、連携型中高一貫教育を実施する中学校から高校へ出願する入試です。

いずれにしても、3つの入試制度（特色選抜・一般選抜・連携型選抜）とも共通の学力検査を実施するので、自身の進路目標を明確に設定し、その実現に向けて中学校での学習の繰り返しと積み重ねを大切に準備・実践していくことが肝心です。

先日は、3年生全体で高校体験入学の説明会を行いました。実際の高校を見学したり説明をお聞きしたり体験をしてみたりすることは、進路目標を明確にもつためにも大切な機会となります。可能な限り早期に進路目標を設定し、学習や準備に取り組めるようご家族でのご検討、そして、教育相談等の活用をお願いします。



【のり？を作っています！ ～おいしそうな寿司づくりに挑戦しています。～】

子どもたちのがんばりをみつけに3階に行ってみると女子生徒がテーブルの上でラップを広げて何やら黒いものを押し伸ばしていました。「何を作っているの?」と聞くと、「のりを作っています。」という答え。のり（糊）?その向こう側を見てようやく理解できました。糊ではなく海苔だったのです。美術の授業で寿司づくりに取り組んでいる途中で、海苔巻き用の海苔を作ろうと、手が汚れないようにラップを使って黒い粘土を押し伸ばしていたのだそうです。おいしそうな寿司ができますように。

